2015年8月19日

当社広告「聖火はいつも、未来を照らす。」が朝日新聞「2014年度　第63回　朝日広告賞」でエネルギー・産業部門賞を受賞

記者各位

当社（社長：杉森　務）は、朝日新聞に出稿した広告「聖火はいつも、未来を照らす。」により、「2014年度　第63回　朝日広告賞（広告主参加の部）エネルギー・産業部門賞」を受賞しました。去る7月23日（木）に「朝日広告賞贈呈式」が開催されましたので、お知らせいたします。

「朝日広告賞」は、1952年（昭和27年）にスタートし、才能ある若手クリエーターの発掘と、新たな広告表現の創造をめざし、絶えず進化し続けている広告賞です。
今回の「2014年度　第63回　朝日広告賞」では、「新聞広告という歴史ある表現の中で、何かが確実に変化し始めていることを予感させる興味深い作品がそろった」との評価を受けた19作品が各賞を受賞し、当社広告は、その中の一つ「エネルギー・産業部門賞」に選出されました。

当社は、本年3月18日に、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、東京2020スポンサーシッププログラムのパートナー契約を締結し、「東京2020ゴールドパートナー（契約カテゴリー：石油、ガス、電気供給）」となりました。
今回の広告は、当社が聖火の燃料となる灯油とガスを供給した1964年開催の東京オリンピックの聖火台の画像を使用し、「生まれ変わる東京の力になりたい。」とのキャッチコピーにより、2020年大会に向けた国民の期待をさらに高めていきたいとの想い、また「東京2020ゴールドパートナー（石油、ガス、電気供給）」として、新たなエネルギー社会の創造に貢献したいという当社の使命感を表現しております。

当社は、ゴールドパートナーとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の安定的な運営に貢献するとともに、当社行動指針の一つである「社会との共生」のもと、引き続き、スポーツ・文化の振興や次世代育成に積極的に取り組んでまいります。

以　上

＜広告「聖火はいつも、未来を照らす。」＞